発　　言　　通　　告　　書

令和　8 年　2 月 20 日

松山市議会議長　　原　　俊　司　　殿

松山市議会議員　　**本　田　精　志**

次のとおり通告します。

発言順位	１２	受領日時	2 月　20 日　午前・午後　4 時　5 分		1　枚中　1　枚目
質問等の方式	一問一答方式　・　一括方式			発言時間	約　65　分
答弁を求める者	・市長　・教育長　・選挙管理委員会委員長　・公平委員会委員長 ・農業委員会会長　・監査委員　・公営企業管理者				

No	件　　名	発　言　の　要　旨
1	**JR 松山駅周辺まちづくりにおける公民連携の推進について**	(1)JR 松山駅周辺整備において公民連携を進めることについて本市の考えを問う。
		(2)サウンディング型市場調査の結果概要によると民間事業者から行政と連携する提案もあるが、これを踏まえ、モデルプランの作成に当たってどのような検討を行っているかについて問う。
		(3)モデルプランを策定するに当たり、県に対してどのような調整を行い、県の意向をどのように反映させるか問う。
		(4)ライブ配信を見ての感想と、ホームアリーナの誘致に向けて本市としてどのように取り組むのか、市長の考えを問う。
2	**中央商店街の活性化について**	(1)中央商店街の通行量や空き店舗率の現状について問う。
		(2)中央商店街での令和 8 年度の新たな取組内容と効果について問う。
		(3)銀天街 L 字地区の再開発をどのように進めていくのか問う。
3	**観光振興について**	(1)主要観光施設の令和7年の入場者数と令和6年からの主な増減理由について問う。
		(2)令和 8 年度の主な取組について問う。
		(3)観光分野の骨太方針について
		①観光振興条例を策定する意向について問う。
		②条例や基本計画の策定スケジュール及び内容について問う。
		(4)四国新幹線の導入に向けた本市の現状と今後の取組について問う。
		(5)豊予海峡ルートの整備についての本市の認識を問う。